

2. 中心市街地の位置及び区域

2-1 位置

(1)位置設定の考え方

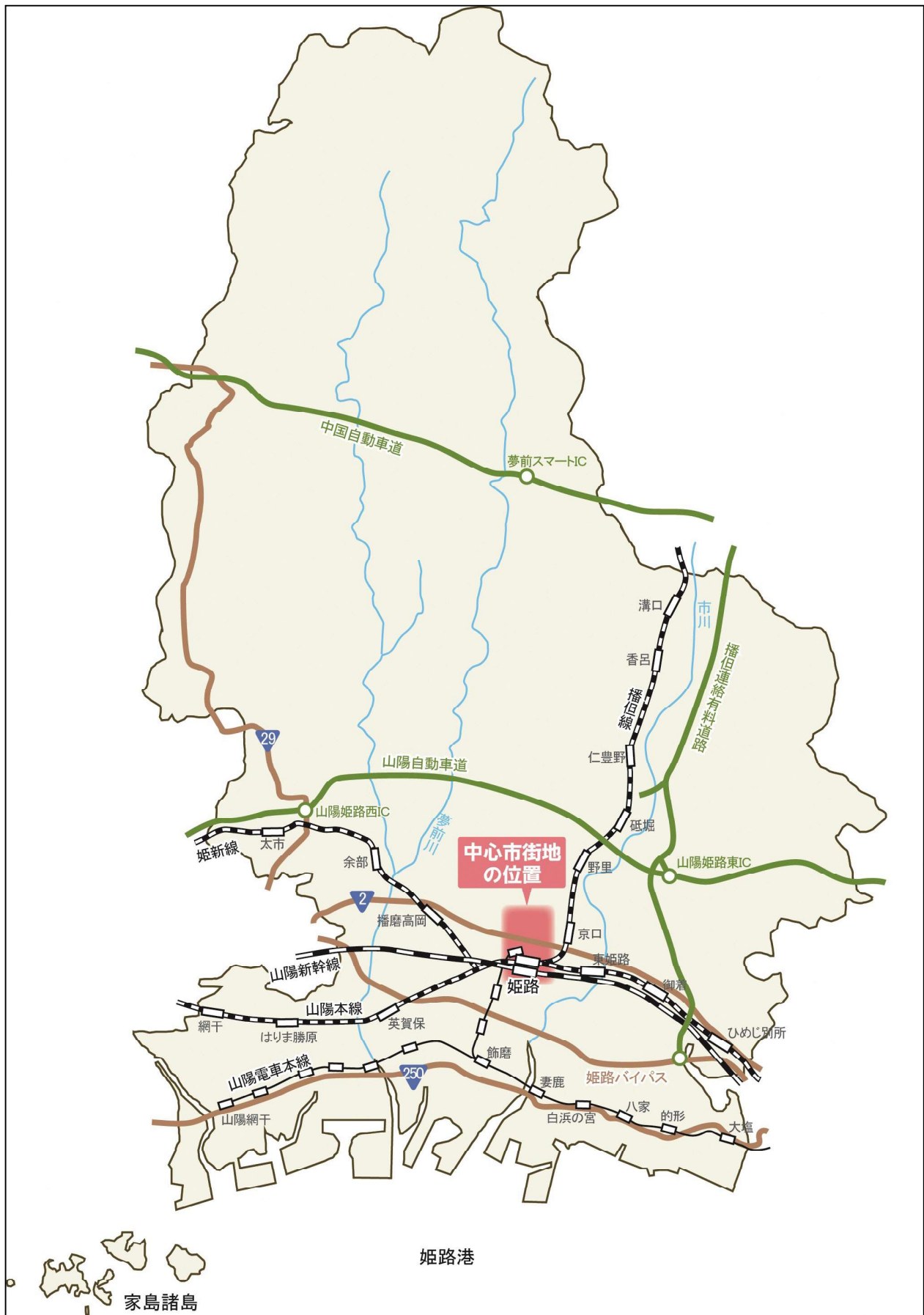
現在のまちの骨格は、室町時代から江戸時代初期にかけて現在の地に姫路城が築城された時を始まりとする。姫路城は全国的にも珍しい総構の構造をとり、城下町は主に外堀から内側に形成され、山陽・但馬・出雲・因幡街道等の街道結節点という立地条件と重なって、播磨地域の中心地として発展してきた。

明治期に入っても、姫路の市街地は旧曲輪と旧曲輪外の山陽・但馬街道沿道の限定された区域であり、この中に商業をはじめ、官公庁等の行政機能、業務機能が集積していた。明治中期に旧城下町の南側に鉄道が開業したが、急激な市街地拡大は発生せず、まちの中心的役割を旧城下町が担い続けた。

太平洋戦争における戦災からの復興、戦後の急激な人口増加に対応するため、姫路駅南北での計画的な市街地整備が行われ、市役所等一部機能の姫路駅南側への移転等が行われたが、商業機能、播磨地域の拠点となる業務機能の多くは姫路駅を核としてその周辺に立地している。

また、世界文化遺産・姫路城は、400年の歴史の中で一度も戦災や火災に遭うことはなく、その優美な姿や文化的価値を現在まで継承していることから、長年にわたって市民に心の拠り所として親しまれるとともに、国内外から多くの人々が訪れ、今日でもまちの中心的役割を果たしている。

このように、本市と播磨地域の中心的役割を担い続け、現在及び将来ともにその役割に変わりがないと考え、姫路駅及び姫路城を核とした地域を新計画の中心市街地と位置付ける。



● 中心市街地の位置図

2-2 区域

(1)区域設定の考え方

前計画では、JR姫路駅及び姫路城を中心とした中心市街地約222haを対象としている。

新計画は、「国内外の人々が行き交い愛され、市民が愛着をもつ城下」を基本テーマとし、前計画の4つの基本的な方針を継承し、さらに発展させていくことを基本的な考え方とすることから、区域についても前計画を継承することとする。

以下に、中心市街地の基本的な考え方を示す。

①「行きたい城下 —国内外の人々が訪れるまちづくり—」の視点

前計画では、「行きたい城下」という視点のもと、区域北側に位置する姫路城を核とした特別史跡指定地(中曲輪)を中心市街地に包含した。これは、姫路城の知名度を活かすとともに、姫路城大天守保存修理工事や観光・集客系ソフト事業の実施を踏まえ、中心市街地の集客力向上に大きな効果をもたらしているためである。

新計画においても、同区域が有する集客力を活用し、滞在型観光の推進を図ることが中心市街地の活性化に有効であると考え。また、再整備された大手前通りを活用し、人が滞留し、にぎわう魅力的な空間を目指し、大手前通りのエリア価値向上に取り組むこととする。

駅東地区は、姫路市文化コンベンションセンターの整備により、キャストィ21コアゾーンで創出された姫路駅から東西につながる新たな動線をより強化し、中心市街地のさらなる魅力向上を果たすため、中心市街地に含めることとする。

②「にぎわう城下 —人々が集い回遊するまちづくり—」の視点

増加している観光客や居住者を回遊させるためには、商店街の活性化が重要であり、多くの商店街を有する姫路駅北側の市街地を中心市街地に包含する。

また、姫路卸売市場としてにぎわった駅西地区は、現在、空き店舗等の遊休不動産が増加しており、それらを活用したエリア再生に向けた事業が想定されることから、中心市街地に含めることとする。

③「住みたい城下 —人々が安心して暮らしやすいまちづくり—」の視点

前計画では、南北市街地の一体化の推進により、中心市街地での居住の利便性が高い姫路駅南側の市街地を含め、姫路駅から概ね徒歩圏に位置する区域を中心市街地とし、姫路駅北側の市街地と一体的に、歩いて暮らせるまちづくりを進めることとしている。

これは、中心市街地の居住者が、商店街や駅前商業施設等の日常的な利用者であることから、中心市街地の居住者数の動向をモニタリングすることが有効であると考えたためである。

新計画においても、土地区画整理事業による居住者の増加や県立はりま姫路総合医療センター(仮称)の整備等が、医療・福祉の充実、働く場の増加に寄与することで、中心市街地に居住する魅力の向上にあたって大きな役割を果たすため、姫路駅南側の市街地を中心市街地に含めることとする。

④「市民が主役の城下 —市民が躍動できるまちづくり—」の視点

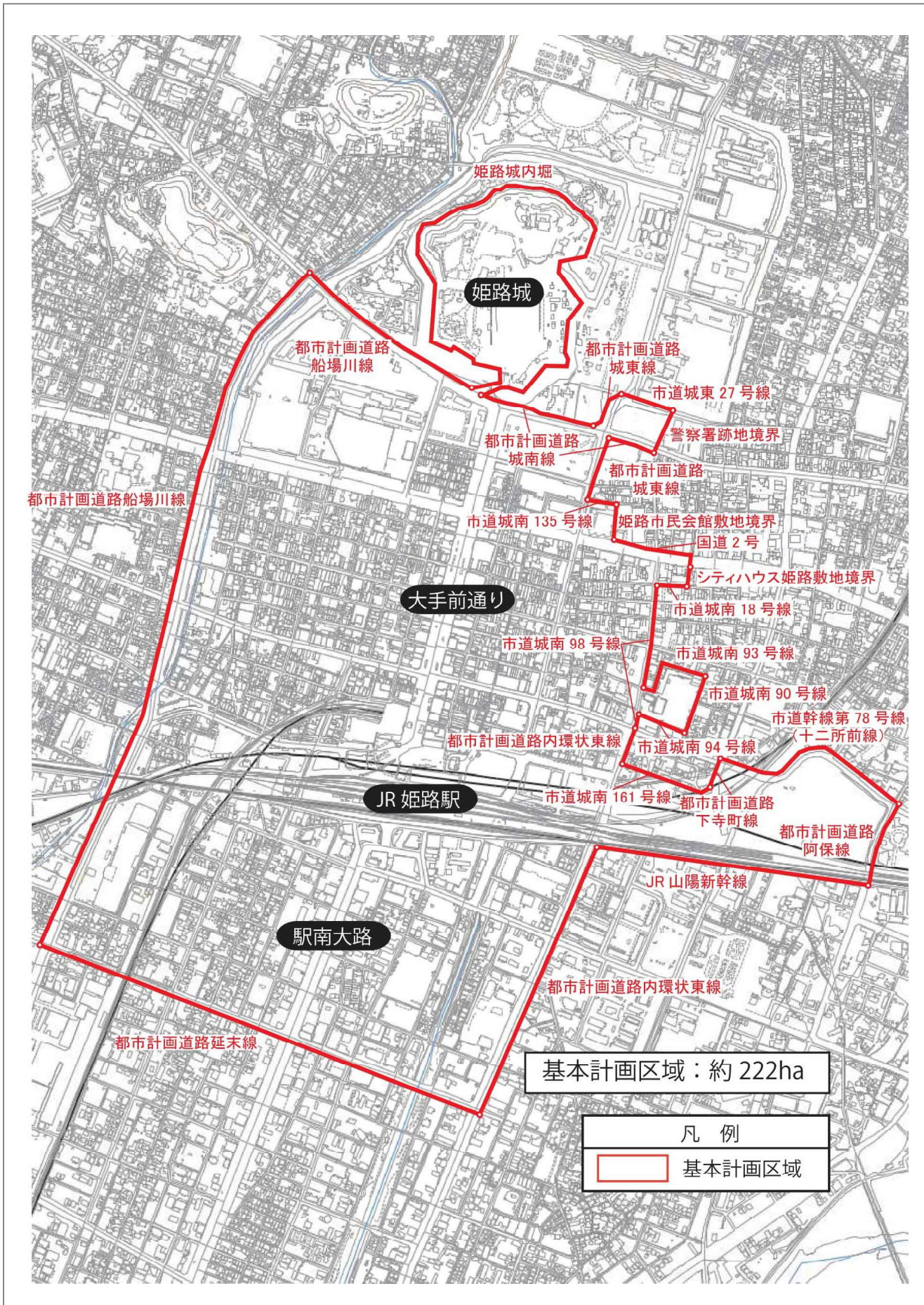
前計画では、姫路駅周辺整備事業によって整備された、姫路駅北にぎわい交流広場等の高質な公共空間の市民主体による利活用をはじめ、市民や商業事業者等が自ら考え、行動するまちづくりを公民連携のもとで実施し、将来的なエリアマネジメント運営に結びつけていくため、中心市街地全体とした。

新計画では、大手前通りの利活用や、市民の利活用の場として定着した姫路駅北にぎわい交流広場等のにぎわいを有機的に組み合わせながら、中心市街地全体でにぎわいを創出させる。また、回遊性の向上や滞留時間の延長、民間活力の活用等、持続的なまちづくりを進め、中心市街地のさらなる価値向上を目指すべく、中心市街地全体を区域とする。

以上の考え方にに基づき、前計画と同様に、下図のとおり、約222haを姫路市の中心市街地とする。

■中心市街地 約222ha

東側境界	都市計画道路内環状東線、JR山陽新幹線、都市計画道路阿保線、市道幹線第78号線（十二所前線）、都市計画道路下寺町線、市道城南161号線、市道城南98号線、市道城南94号線、市道城南90号線、市道城南91号線、市道城南18号線、シティハウス姫路敷地境界、国道2号、姫路市民会館敷地境界、市道城南135号線、都市計画道路城東線、都市計画道路城南線、姫路警察署跡地敷地境界
西側境界	都市計画道路船場川線
南側境界	都市計画道路延末線
北側境界	都市計画道路城南線、姫路城内堀、都市計画道路城東線、市道城東22号線



●中心市街地の区域図

2-3 中心市街地の要件に適合していることの説明

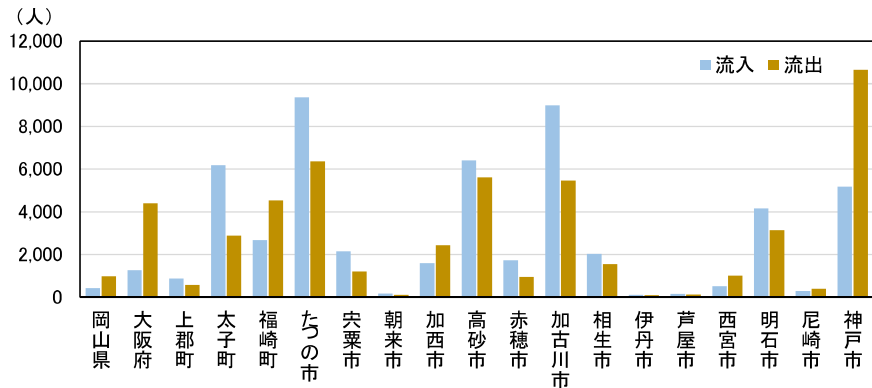
要件	説明																
<p>第1号要件</p> <p>当該市街地に、相当数の小売商業者が集積し、及び都市機能が相当程度集積しており、その存在している市町村の中心としての役割を果たしている市街地であること</p>	<p>中心市街地の面積約222haは、市域53,435haの0.42%で、市内の住居系・商業系用の面積7,772ha(平成31年1月1日現在値)の約2.9%に相当する。中心市街地には、以下のような商業・都市機能の集積があり、市内において最も高い集積度となっている。</p> <p>■小売業は、本市全体の14%前後の集積度</p> <ul style="list-style-type: none"> 小売業は、本市全体に対して、事業所数では15.6%、従業者数では14.1%、年間商品販売額は13.9%の集積となっている。 <table border="1" data-bbox="496 757 1414 969"> <thead> <tr> <th></th> <th>中心市街地 (A)</th> <th>姫路市全体 (B)</th> <th>対市割合 (A/B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所数</td> <td>577店</td> <td>3,688店</td> <td>15.6%</td> </tr> <tr> <td>従業者数</td> <td>4,017人</td> <td>28,489人</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>年間商品販売額</td> <td>803億円</td> <td>5,780億円</td> <td>13.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(資料:平成28年度 経済センサス活動調査)</p> <p>■播磨地域の中心的な各種都市機能が集積</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地には市民会館や青少年センター、イーグレひめじ等、またその外縁部には、姫路市立美術館、姫路文学館、兵庫県立歴史博物館等が位置しており、市の文化・教育・コミュニティ施設が集積している。 前計画で区域に加えたキャストイ21イベントゾーンには、姫路市文化コンベンションセンターや県立はりま姫路総合医療センター(仮称)が整備され、高次都市機能が集積される予定である。 行政関連施設は、駅前市役所、兵庫県旅券事務所姫路出張所、兵庫県姫路総合庁舎が立地し、播磨地域の行政機能の中枢を担う区域となっている。 以上のように、中心市街地内には本市のみならず、播磨地域の主要な都市機能が数多く立地し、中心的役割を果たしている。 		中心市街地 (A)	姫路市全体 (B)	対市割合 (A/B)	事業所数	577店	3,688店	15.6%	従業者数	4,017人	28,489人	14.1%	年間商品販売額	803億円	5,780億円	13.9%
	中心市街地 (A)	姫路市全体 (B)	対市割合 (A/B)														
事業所数	577店	3,688店	15.6%														
従業者数	4,017人	28,489人	14.1%														
年間商品販売額	803億円	5,780億円	13.9%														

要件

説明

■通勤・通学の流出入口

- ・平成27年の国勢調査による他市町との通勤・通学目的の流出入口状況をみると、神戸市や大阪府に対しては流出超過になっているものの、播磨地域に位置する市町に対しては大幅な流入超過の状況にある。
- ・周辺市町を中心とした広域からの通勤・通学者が流入しているものと考えられる。

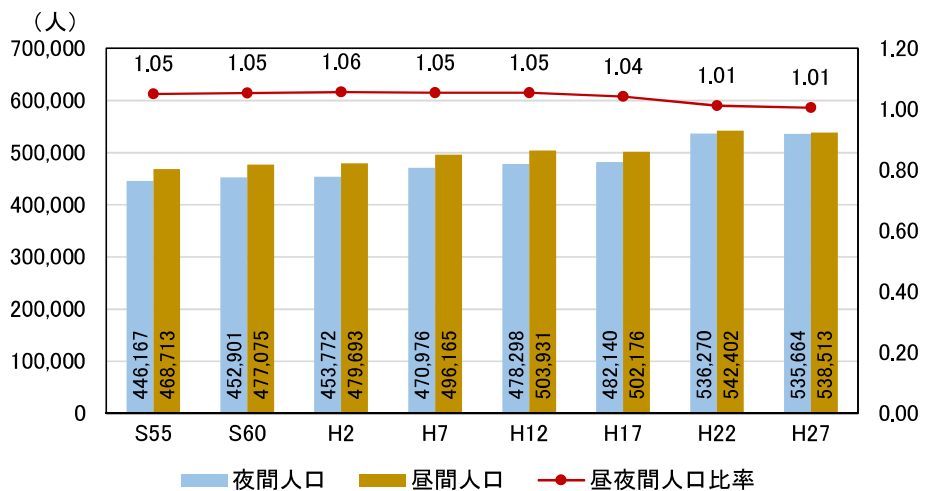


●姫路市の通勤・通学流出入口状況

(資料:平成27年度 国勢調査)

■昼夜間人口比率

- ・国勢調査によると、本市(平成17年調査以前は合併前市域)の昼夜間人口比率は、合併前には概ね1.05で推移していたが、合併後は1.01となっている。
- ・昼間人口は平成17年調査以前と比較して大きく増加しているが、人口増加もしているため、昼夜間人口比率としては低下している。
- ・民間マンションの建設等もあり、市内、周辺市町から多くの方が中心市街地に転入していると考えられる。



●姫路市の昼夜間人口比率

(資料:各年国勢調査)

要件

説明

■ 姫路駅の利用者(市内の駅の乗車人員の比較)

・JR及び山陽電鉄の姫路駅乗車人員は、市内の他の駅と比較して群を抜いて多く、市内総乗車人員に対してJR姫路駅では60%弱、山陽電鉄では40%弱に達している。

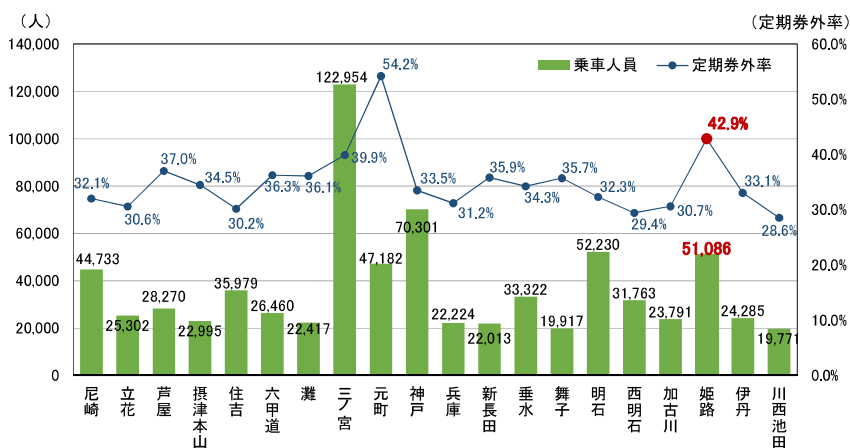
● 市内の鉄道駅年間乗車人員(平成28年度)(上位4駅、単位:千人)

JR			山陽電鉄		
市全体	31,304	100.00%	市全体	13,659	100.00%
姫路	18,647	59.57%	姫路	5,177	37.90%
網干	2,818	9.00%	飾磨	1,664	12.18%
はりま勝原	1,831	5.85%	白浜の宮	1,112	8.14%
英賀保	1,652	5.28%	大塩	941	6.89%

(資料:姫路市統計要覧)

■ 姫路駅の利用者は兵庫県下でも4番目に高い

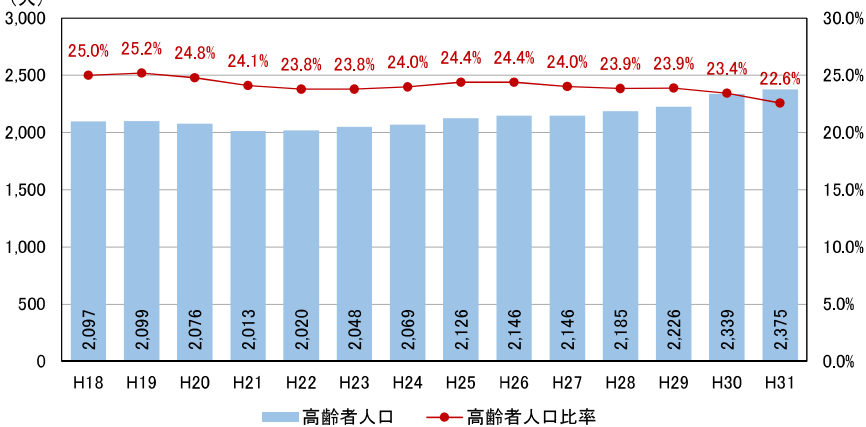
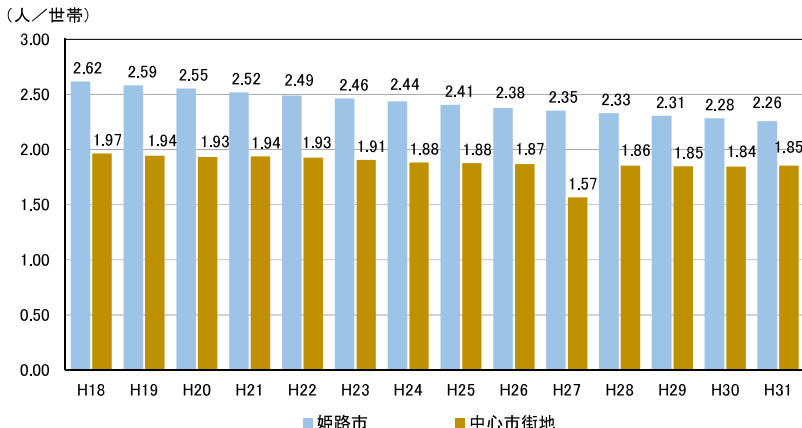
・JR姫路駅の一日あたりの平均乗車人員は約5万人であり、三宮駅、神戸駅、明石駅に次いで4番目となっている。
 ・定期券を使用しない定期券外率が元町に次いで2番目に高く、観光・買物等通勤・通学以外の利用が多くなっている。



● 周辺駅の乗車人員と定期券外率(再掲)

(資料:兵庫県統計書)

・以上から、中心市街地は、播磨地域の主要な都市機能が集積し、市内及び周辺市町から通勤・通学者、買物客や観光客が数多く流入しており、本市のみならず播磨地域の経済・社会の中心的役割を担う地域である。

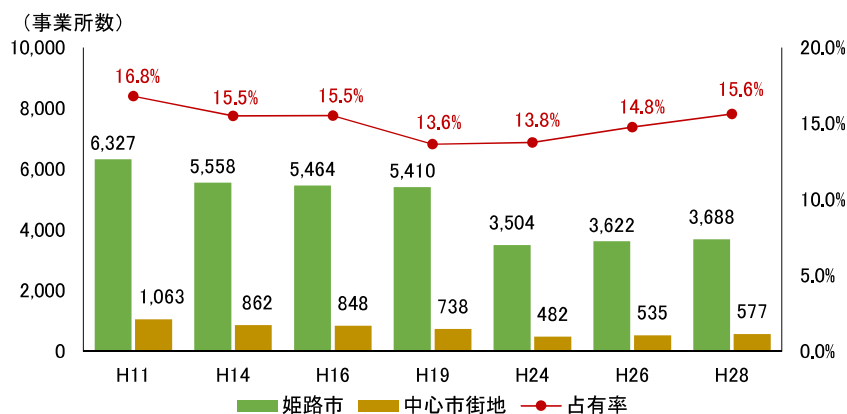
要件	説明																																																																																										
<p>第2号要件</p> <p>当該市街地の土地利用及び商業活動の状況等からみて、機能的な都市活動の確保又は経済活力の維持に支障を生じ、又は生ずるおそれがあると認められる市街地であること</p>	<p>中心市街地は、高齢者人口の増加や世帯人員の小規模化が進行するとともに、小売業が低下傾向にあり、中心市街地の活性化の効果はうかがえるものの、全体的に経済活力が低下している。</p> <p>■高齢者人口の増加や世帯人員の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の人口は増加傾向にあり、高齢者人口も年々増加している。 中心市街地の世帯人員は、1.85人であり、本市全体の2.26人と比較しても小規模化の度合いが大きい。  <table border="1" data-bbox="518 683 1388 1108"> <caption>高齢者人口の推移 (再掲)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>高齢者人口 (人)</th> <th>高齢者人口比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>2,097</td><td>25.0%</td></tr> <tr><td>H19</td><td>2,099</td><td>25.2%</td></tr> <tr><td>H20</td><td>2,076</td><td>24.8%</td></tr> <tr><td>H21</td><td>2,013</td><td>24.1%</td></tr> <tr><td>H22</td><td>2,020</td><td>23.8%</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2,048</td><td>23.8%</td></tr> <tr><td>H24</td><td>2,069</td><td>24.0%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,126</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,146</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2,146</td><td>24.0%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,185</td><td>23.9%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,226</td><td>23.9%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2,339</td><td>23.4%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>2,375</td><td>22.6%</td></tr> </tbody> </table> <p>●中心市街地の高齢人口の推移(再掲) (資料:姫路市人口統計)</p>  <table border="1" data-bbox="502 1310 1308 1736"> <caption>中心市街地の世帯人員の推移(再掲)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>姫路市 (人/世帯)</th> <th>中心市街地 (人/世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>2.62</td><td>1.97</td></tr> <tr><td>H19</td><td>2.59</td><td>1.94</td></tr> <tr><td>H20</td><td>2.55</td><td>1.93</td></tr> <tr><td>H21</td><td>2.52</td><td>1.94</td></tr> <tr><td>H22</td><td>2.49</td><td>1.93</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2.46</td><td>1.91</td></tr> <tr><td>H24</td><td>2.44</td><td>1.88</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2.41</td><td>1.88</td></tr> <tr><td>H26</td><td>2.38</td><td>1.87</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2.35</td><td>1.57</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2.33</td><td>1.86</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2.31</td><td>1.85</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2.28</td><td>1.84</td></tr> <tr><td>H31</td><td>2.26</td><td>1.85</td></tr> </tbody> </table> <p>●中心市街地の世帯人員の推移(再掲) (資料:姫路市人口統計)</p>	年度	高齢者人口 (人)	高齢者人口比率 (%)	H18	2,097	25.0%	H19	2,099	25.2%	H20	2,076	24.8%	H21	2,013	24.1%	H22	2,020	23.8%	H23	2,048	23.8%	H24	2,069	24.0%	H25	2,126	24.4%	H26	2,146	24.4%	H27	2,146	24.0%	H28	2,185	23.9%	H29	2,226	23.9%	H30	2,339	23.4%	H31	2,375	22.6%	年度	姫路市 (人/世帯)	中心市街地 (人/世帯)	H18	2.62	1.97	H19	2.59	1.94	H20	2.55	1.93	H21	2.52	1.94	H22	2.49	1.93	H23	2.46	1.91	H24	2.44	1.88	H25	2.41	1.88	H26	2.38	1.87	H27	2.35	1.57	H28	2.33	1.86	H29	2.31	1.85	H30	2.28	1.84	H31	2.26	1.85
年度	高齢者人口 (人)	高齢者人口比率 (%)																																																																																									
H18	2,097	25.0%																																																																																									
H19	2,099	25.2%																																																																																									
H20	2,076	24.8%																																																																																									
H21	2,013	24.1%																																																																																									
H22	2,020	23.8%																																																																																									
H23	2,048	23.8%																																																																																									
H24	2,069	24.0%																																																																																									
H25	2,126	24.4%																																																																																									
H26	2,146	24.4%																																																																																									
H27	2,146	24.0%																																																																																									
H28	2,185	23.9%																																																																																									
H29	2,226	23.9%																																																																																									
H30	2,339	23.4%																																																																																									
H31	2,375	22.6%																																																																																									
年度	姫路市 (人/世帯)	中心市街地 (人/世帯)																																																																																									
H18	2.62	1.97																																																																																									
H19	2.59	1.94																																																																																									
H20	2.55	1.93																																																																																									
H21	2.52	1.94																																																																																									
H22	2.49	1.93																																																																																									
H23	2.46	1.91																																																																																									
H24	2.44	1.88																																																																																									
H25	2.41	1.88																																																																																									
H26	2.38	1.87																																																																																									
H27	2.35	1.57																																																																																									
H28	2.33	1.86																																																																																									
H29	2.31	1.85																																																																																									
H30	2.28	1.84																																																																																									
H31	2.26	1.85																																																																																									

要件

説明

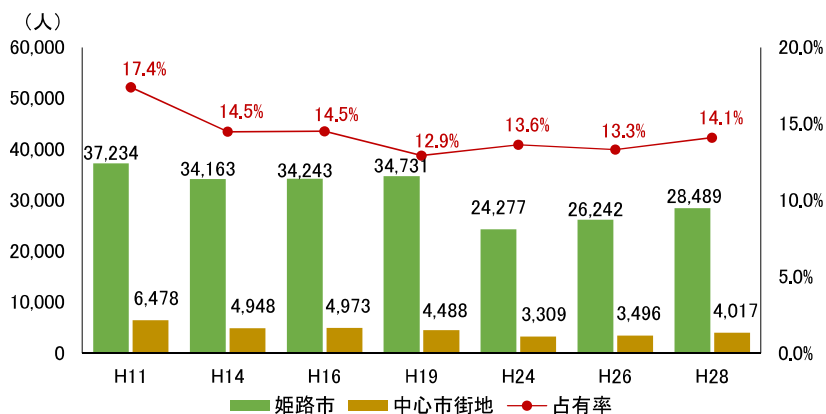
■小売業の事業所数、従業者数、年間販売額は大幅に減少

- ・中心市街地の小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額は平成11年度から減少傾向にあり、平成28年度に微増したが、依然として減少が懸念される。
- ・本市全体に対し、中心市街地が占める事業所数、従業者数、年間商品販売額の割合は、平成19年度から微増しているが、依然として、中心市街地の活力低下が懸念される。



●小売業の事業所数の推移(再掲)

(資料:商業統計調査、経済センサス活動調査)

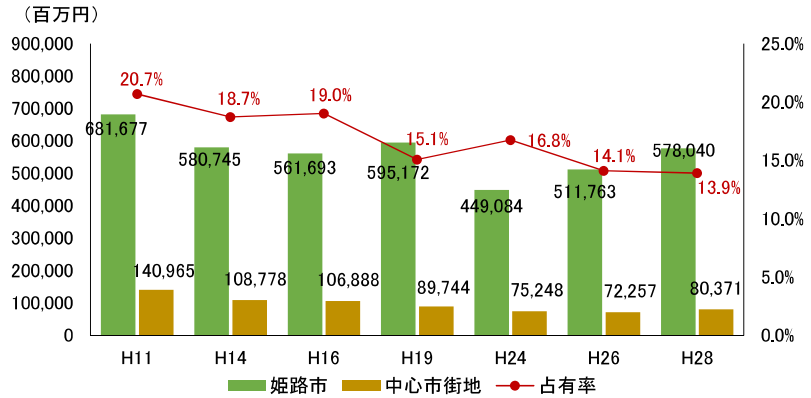


●小売業の従業者数の推移(再掲)

(資料:商業統計調査、経済センサス活動調査)

要件

説明



●小売業の年間商品販売額の推移(再掲)

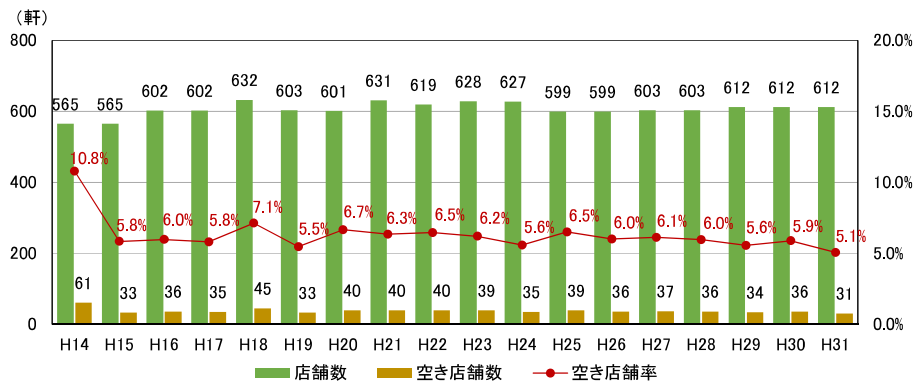
(資料:商業統計調査、経済センサス活動調査)

※中心市街地は、平成19年までは城南小学校校区・城巽小学校校区内の合計、平成26年以降は白鷺小学校校区内の数値を採用

※平成26年調査は日本標準産業分類の改定及び調査設計の大幅変更に伴い、平成19年調査と接続しない。

■空き店舗数は横ばい傾向にある

- ・中心市街地の商店街における空き店舗数は、わずかに減少しているものの、平成15年以後はほぼ横ばい状態が続いており、大きな改善には至っていない。
- ・平成31年3月時点では、商店街の店舗数に対して約5%を占める。



●中心市街地商店街の店舗数と空き店舗数の推移(再掲)

(資料:店舗数-兵庫県団体名簿等、空き店舗数-姫路商工会議所・姫路市調査)

要件	説明																																																																																				
	<p>■ 中心市街地の歩行者・自転車通行量の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における歩行者・自転車通行量は、令和元年度に微増したが、全体的には漸減傾向となっている。 ※平成20年度の数値が大幅な増加となっているが、「第25回全国菓子大博覧会・兵庫」の開催による影響と考えられる。 ※平成26年度と平成29年度の数値が大幅な減少となっているが、悪天候の影響(調査日の4月29日)と考えられる。 <div data-bbox="486 604 1396 1041" style="text-align: center;"> <p>(人)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>中心市街地の歩行者・自転車通行量 (単位: 人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H12</td><td>35,000</td><td>58,801</td><td>93,801</td></tr> <tr><td>H13</td><td>30,000</td><td>51,817</td><td>81,817</td></tr> <tr><td>H14</td><td>28,000</td><td>49,928</td><td>77,928</td></tr> <tr><td>H15</td><td>35,000</td><td>60,400</td><td>95,400</td></tr> <tr><td>H16</td><td>28,000</td><td>47,516</td><td>75,516</td></tr> <tr><td>H17</td><td>27,000</td><td>48,845</td><td>75,845</td></tr> <tr><td>H18</td><td>25,000</td><td>40,870</td><td>65,870</td></tr> <tr><td>H19</td><td>32,000</td><td>51,938</td><td>83,938</td></tr> <tr><td>H20</td><td>45,000</td><td>77,802</td><td>122,802</td></tr> <tr><td>H21</td><td>28,000</td><td>46,635</td><td>74,635</td></tr> <tr><td>H22</td><td>25,000</td><td>39,932</td><td>64,932</td></tr> <tr><td>H23</td><td>24,000</td><td>41,121</td><td>65,121</td></tr> <tr><td>H24</td><td>23,000</td><td>37,057</td><td>60,057</td></tr> <tr><td>H25</td><td>25,000</td><td>39,444</td><td>64,444</td></tr> <tr><td>H26</td><td>22,000</td><td>28,937</td><td>50,937</td></tr> <tr><td>H27</td><td>29,000</td><td>43,277</td><td>73,277</td></tr> <tr><td>H28</td><td>29,000</td><td>43,417</td><td>72,417</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27,000</td><td>37,014</td><td>64,014</td></tr> <tr><td>H30</td><td>30,000</td><td>40,118</td><td>70,118</td></tr> <tr><td>R1</td><td>30,000</td><td>40,434</td><td>70,434</td></tr> </tbody> </table> <p>■ 男性 ■ 女性</p> </div> <p>● 中心市街地7地点の歩行者通行量(休日)の合計の推移(再掲)</p> <p style="text-align: right;">※1日当り:8時間・自転車含む (資料:姫路市中心市街地通行量調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 以上のように、中心市街地は活性化の効果がうかがえるものの、少子高齢化や小売業の減少等が全体的な都市活動や経済活力の維持に支障をきたす恐れがあることから、都市の中心部としての活力を再生するための対応を図ることが重要である。 	年度	男性	女性	合計	H12	35,000	58,801	93,801	H13	30,000	51,817	81,817	H14	28,000	49,928	77,928	H15	35,000	60,400	95,400	H16	28,000	47,516	75,516	H17	27,000	48,845	75,845	H18	25,000	40,870	65,870	H19	32,000	51,938	83,938	H20	45,000	77,802	122,802	H21	28,000	46,635	74,635	H22	25,000	39,932	64,932	H23	24,000	41,121	65,121	H24	23,000	37,057	60,057	H25	25,000	39,444	64,444	H26	22,000	28,937	50,937	H27	29,000	43,277	73,277	H28	29,000	43,417	72,417	H29	27,000	37,014	64,014	H30	30,000	40,118	70,118	R1	30,000	40,434	70,434
年度	男性	女性	合計																																																																																		
H12	35,000	58,801	93,801																																																																																		
H13	30,000	51,817	81,817																																																																																		
H14	28,000	49,928	77,928																																																																																		
H15	35,000	60,400	95,400																																																																																		
H16	28,000	47,516	75,516																																																																																		
H17	27,000	48,845	75,845																																																																																		
H18	25,000	40,870	65,870																																																																																		
H19	32,000	51,938	83,938																																																																																		
H20	45,000	77,802	122,802																																																																																		
H21	28,000	46,635	74,635																																																																																		
H22	25,000	39,932	64,932																																																																																		
H23	24,000	41,121	65,121																																																																																		
H24	23,000	37,057	60,057																																																																																		
H25	25,000	39,444	64,444																																																																																		
H26	22,000	28,937	50,937																																																																																		
H27	29,000	43,277	73,277																																																																																		
H28	29,000	43,417	72,417																																																																																		
H29	27,000	37,014	64,014																																																																																		
H30	30,000	40,118	70,118																																																																																		
R1	30,000	40,434	70,434																																																																																		

要件	説明
<p>第3号要件</p> <p>当該市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上と総合的かつ一体的に推進することが、当該市街地の存在する市町村及びその周辺の地域の発展にとって有効かつ適切であると認められること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」(平成21年3月策定)において、中心市街地の活性化事業は、4つの基本目標のうち、「風格と活力ある歴史文化・産業都市」中の基本的政策「産業の振興」及び「自然豊かで快適な環境・利便都市」中の基本的政策「都心部まちづくりの推進」に位置付けられている。また、政策展開としてコンパクトシティの推進を掲げており、中心市街地の相対的な活力の低下等の都市問題に対して、「中心市街地の活力維持と向上のための取組みを行うことが急務」としている。現在検討中である次期総合計画においても、同様の趣旨のものを掲載するよう調整中である。 ・「姫路市都市計画マスタープラン」(平成27年3月策定)において、都心部におけるにぎわいの創出と活力の増大等、既成市街地の整備、改善を進めることとされており、JR姫路駅周辺の高次都市機能の集積、都心部の居住環境や利便性の向上を図るとしている。 ・「姫路市立地適正化計画」(平成30年3月策定)において、中心市街地では、播磨の中核都市にふさわしい高次都市機能や広域交流の交通結節機能が充実している拠点として「中心拠点」に位置付けられている。中心拠点には、商業施設や医療施設等市民生活のために必要な施設を一定規模以上確保し、広域的な都市活力向上に貢献する都市機能や防災機能を有する施設も位置付けられている。 ・「経済振興ビジョン」(平成27年3月策定)において、「ものづくりの発展」に基礎を置いた戦略を進めることで、その波及効果が地域経済に好循環をもたらすとしている。大小の製造業が集積・発展することで、地域内の需要を発生させていくとともに、それら企業の従事者が、市内の商業・サービス業等において消費することで、経済循環が生まれ、ひいては地域経済が活性化することを目指すものである。そのためには、商業・サービス業等が消費者にとって魅力的なものでなければならず、その意味でも本市で最も商業が集積している中心市街地の果たす役割は大きいとしている。 ・「姫路市観光戦略プラン」(平成29年3月策定予定)において、世界文化遺産・姫路城をはじめとした多様な観光資源の活用、海外からの観光客の誘致、滞在型観光の推進、MICEの推進等に取り組む観光プランを定めており、歴史・文化施設が集積し、観光資源が多く、また交通機関や宿泊施設、小売業が集中している中心市街地が果たす役割は大きいとしている。 ・よって、中心市街地の活性化は、上位計画等との整合性をもって進められており、中心市街地において都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することは、中心市街地のみならず、本市及びその周辺の播磨地域の発展にとって、有効かつ適切であるものといえる。